

赤十字七原則

道 平 立 立 仕 一 性
人 公 中 独 奉 単 世 界

ともしび

第 8 4 号

発行日 令和 7 年 3 月 31 日

発 行 君津市赤十字奉仕団

編 集 君津市赤十字奉仕団

広 報 編 集 委 員

事務局 ☎ 0439 (56) 1183

奉仕団員のための

基礎研修会開催

R 6 年 11 月 6 日
於 小櫃公民館

令和 6 年度基礎研修会は 11 月 6 日小櫃公民館で開催。
◎研修 1「災害への備え」を日赤千葉県支部組織普及課
奉仕係長の君山千亜紀氏が II 読み物による過去の災害の
追体験く大雨災害編くと題して、また、◎研修 2「赤十
字奉仕団の精神」と題して千葉県支部指導講師の高柳善
江氏が II ボランティアの心を求めてく知ってるつもり！
マザー・テレサよりくを団員（38 名）が受講した。

参加者の感想

秋元分団 長谷川 智子

久しぶりに小櫃公民館で行
われた「基礎研修会」に参加
しました。

今回「読み物による過去の
災害追体験」平成 27 年茨城
県で大雨災害に見舞われた人
の体験談が印象に残りました。
この人は発災直後、災害メー
ル、上流の水位の上がり方、
自分の住んでいる辺りは土地
が低いことを考え情報を気に
していた。そんな時隣の市の
友人から「川の上流で土手が
切れたらしい」との一報が入っ

た。家にいるといいつもと変わ
らないような感じがしていた
が、逆に外側にいる人の方が
こちらの地域の異常に気づい
て連絡してくれたのだ。迷っ
ていたが決断して避難するこ
とにした。家族を先に親戚に
避難させ、自分も避難しよう
とし、途中隣近所にも声をか
けた。「大丈夫」と言ってい
る人にも再度促し、友達にも
電話で呼びかけた。近くの避
難所は大雨では危険と考え、
遠くの避難所へ行く。
私はこの人の一連の行動で
令和元年に千葉県を襲った台
風 15 号を思い出した。く



写真右は、講師
の紹介
写真上は、全員
で記念撮影

写真左は、グ
ループワーク
「マザーテレ
サの心」を話
し合いました

赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人々の
しあわせをねがい、
陰の力となって、
人人に奉仕する。
- 一、常に、くふうして、
人人のために、
よりよい奉仕が
できるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、
すべての人と
手をつないで、
世界の平和につくす。



大野課長の講義～災害に備える～

健康生活支援講習の一環

赤十字避難生活支援講習会

▼12月9日
▼おらがわ
(清和地域
複合施設)

情報を集める事。それによつ
て避難の決断とそのタイミング
など。また災害によって避
難所を選択する等いろいろ勉
強になった。そのほか、勉強
してきたことの再確認をした
一日でした。

小櫃分団 渡辺 文子

この研修は、奉仕団員のた
めのものです。過去に何度も
研修に参加してきました。研
修では奉仕団員に何ができ
るかを考えさせてくれます。

近頃は大規模な自然災害が各
地で発生。そんな時まずは命
を守る自助、近隣住民や地域
の人たちが互いに協力し助け
合う共助となる。今回の研修
は災害発生時の行動について
の講義でした。

いざと言う時落ち着いて、今
迄学んだことが実践できるだ
ろうか、不安に思う。その不
安を拭うには研修・訓練等に
参加してとっさの時に行動が
とれるようにしたい。災害に
備え家族との話し合い、自分

秋元分団 石橋 和子

12月9日「災害が起こって
しまったら」を想定した講習
会が行なわれました。昨今災
害は、いつ起きても不思議で
はない身近な事です。今回の

講師、日赤千葉県支部救護福
祉課・大野昌幸課長は、ディ
マット（災害派遣医療チーム）
のリーダーとして長年活躍さ
れている方でその体験を伺い
ました。
午前の非常食作りは、今ま

でのハイゼックスにひと手間
加えたメニューでキノコの炊
き込みご飯、カボチャの甘煮、
ミネストローネ、パンでした。
受講者から「今日の非常食は
とても美味しかった」と好評
でした。
午後は「避難所運営ゲーム」
参加者が 6 班に分かれ、限ら
れたスペースの避難所を想定、
様々な避難者、物資、対策を
リーダーの立場で、振り分け
を判断するものです。結果各
班が、一つとして同じでなく、
大野講師も「ゲームに正解は
ありません」と話された。緊
急時の平等の難しさ、相手の
身になって理解する、避難者
もお客様ではない事など多く
を学びました。最善最良の行
動を取ることに、ベターであれ、
次はベストに！、これが今回
学んだことです。

令和 6 年度献血年間実績

年月日	受 付 (人)	採血種別人数		不 採 血 (人)
		400 ml	200 ml	
6. 5. 9	97	77	3	17
6. 8. 19	49	33	5	11
6. 10. 17	92	72	3	17
7. 1. 9	55	41	1	13

の住んでいる地域を知ってお
く、危険箇所、避難場所、防
災関連施設、住民の把握など
がある。最も大切な命を守る
こと（自助）、地域防災力（
共助）の必要性を改めて感じ
た研修でした。

ぼうさいまちがいがし きけんはっけん！ 市内保育園・学童保育へ出前講座



子ども達が、災害時のきけん力所を探していく「きけんはっけん講座」

保育園の子どもと一緒に災害時に気を付けることを考えていく「ぼうさいまちがいがしきけんはっけん！」講座もいろいろ試行錯誤を重ねながら、一学期は地震、二学期は風水害、三学期は避難を

テーマに、一年間で延べ二十ヶ所の保育園や学童保育をまわることができました。さらに、始めた当初は、年長さん限定だったのを、年長さん、年中さんの二グループを同時に進行することができるようになりました。これはとても指導員だけで出来ることではなく、各保育園の近くの奉仕団員の方々に「近所のおばあちゃん」として、お手伝いしていただいたからこそできたことです。

数年前、始まった当初は、しり込みしていた子どもたちも、すっかり打ち解けて「今日は何をやるの？」「また来てくれる？」と、歓迎ムードです。

レッドクロスボランティアスクール 令和6年度 卒業生2名紹介

11月
19・20日

小糸分団 石井トモ子

私は今回の研修に参加する前は、とても不安でした。座席は指定で、6グループに分かれての研修でした。

「赤十字について」では、赤十字の起り、赤十字の行動基準七原則等を学び、次第に赤十字のことが分かってきました。

「ボランティアサービス」の中で、ボランティア活動は「自分の得意な知識及び能力を進んで世の人々のために役に立てようとする自主的な奉仕

活動」という言葉が、心の中に強く残りました。

「グループワーク」では個人の答えを出し、グループの答えを決めるということが、とても難しかったです。

多くを学んだ研修でしたが、一日目は頭が飽和状態になりました。しかし、二日目は赤十字と奉仕団活動で繰り返し学んだことで赤十字について理解することができました。

研修では多くの方々に出会えました。多くのことを学ぶことができた。研修に参加して、良かったと思いました。

於・袖ヶ浦市 10名参加 南部ブロック赤十字のつどい

1月17日、袖ヶ浦市平岡交流センターで開催された「赤十字のつどい」南部ブロック大会に参加させていただきました。

開会式後、リラクゼーションの実技を参加者全員が二人一組で行いました。優しく包み込むように触れることで、心身が癒

絵を見て一緒に考えて、防災教室の最後にはかわいいたんゴムのポーズを決めて、私たちもほっこりとした気持ちで園を後にします。

役立つ日が来てほしくないけれど、万が一のとき自分の命を守る一助になることを祈っています。

地球温暖化の影響である異常気象による災害に備える一助として、日頃より防災対策を心掛け、気象情報に敏感に対応していくこと。また地球温暖化対策（温室効果ガスの排出削減）として、個人が何ができるかを考え実行すること、を話されました。

一般参加
朝生千恵子（小糸）
12月9日「おらがわ」にて行われた避難生活体験講習会に2歳の孫と一緒に参加しました。元小学校の校舎と言ったこともありよく整備され、エレベーターもあり、孫をおぶった私には優しい環境でした。

気候変動による最悪の事態の回避を訴えた国連事務総長の「地球沸騰の時代」の言葉はとても重いものと感じました。

災害時非常食作りでは、パン作りを体験。厚手のビニール袋を使って材料を混ぜたりこねたりし、簡単に作れることにびっくり。キノコの炊き込みご飯やカボチャの甘煮の材料が入った炊飯袋の空気を抜くために、水に沈めてやる方法を教わりました。使う輪ゴムは新しい方が良く、ハイゼックスレシピアの条件として、材料の加工を殆ど必要としないこと、災害時にも材料を調達し易い缶詰等を利用するのが良いこと、水をあまり使わずにすむことの大切さを学びました。個別袋だと衛生的だし、アレルギーのある人にも対応し易い利点があること。袋には作った日時を記入することも重要だと知りました。チラシを使って食器作りも体験しました。しかし、このごろ物忘れが激しいのでいただいた資料は「防災資料」としてファイリングしておくことにしました。

周南分団 鈴木眞佐子

千葉県赤十字会館において二日間の講義でした。まずは「赤十字について」から始まり「ボランティアサー

困ってしまいました。今一度、「赤十字奉仕団員の信条」を頭に刻み、自らが気づき行動できるように協力し、また、奉仕団活動にも参加できたと思います。初めての受講で大変でしたが、有意義な2日間でした。

令和6年度社資実績

法人社資	奉仕団員集金分
合計件数	591件
合計金額	2,159,070円
目標金額	2,226,000円
目標達成率	97.0%
おつかれさまでした。	



小櫃ではフェルトでバッグ作り

里の家だより



「里の家」では、来所者の方達と楽しい一日を過ごしています。色紙に美しい花を表現する「はり絵」を作り、記念撮影しました（小糸）

あとかき

紙面の都合上、避難生活支援講習会（1面記事）に参加された朝生さんの感想文を2面に掲載させていただきました。また、奉仕団員には「令和7年度の行事日程」を別紙にて配布致します（江）